



World Karate Federation General Secretary Office News Letter vol.70

Edition February 11th, 2019

パリ2024への道

■パリ2024追加種目選考

パリ2024オリンピックでは、東京2020と同じ28の競技が実施されることが決定しています。空手は東京2020同様に、開催地提案での追加種目採用を目指して、パリ組織委員会(COJO)と鋭意交渉を継続しています。

1月上旬には追加種目を目指すスポーツから、COJOに対するプレゼンテーションが実施されました。内容は明らかにされていませんが、他競技も積極的に働きかけを行なっているようです。

COJOからIOCへの追加種目提案は、当初2019年6月までに行なわれると言われていましたが、今月中にも発表される可能性が出てきました。
ここで空手が提案されなければ、パリ2024採用はあり得ません。

空手の国際的普及やフランスでの人気を鑑みると総合的には「期待大」ではあるものの、簡単な道のりではない、というのが正直なところです。

■日仏両国からの働きかけ

東京では昨年12月の空手道推進議連の決議にもとづき、WKF/JKFが、日本国よりフランス政府関係者およびCOJOに対し、空手を推薦する決議文を渡していただくよう要請しています。

フランスでは、1月25～27日に開催されたプレミアリーグ・パリ大会に木寺昌人 在フランス特命全権大使の臨席を賜り、決勝戦をご覧いただいたうえ、2018年プレミアリーグ・グランドウィナーの表彰式でプレゼンターを務めていただきま



グランドウィナー表彰式では、木寺大使にプレゼンターを務めていただきました。(Photo by Denis Boulanger)

した。

大会前には、大使館主催のレセプションで形の演武が披露されたり、大会後には日仏の現役選手が地元の子どもたちに空手を教える企画をフランス空手連盟が主催するなど、あらゆる側面から空手を推進する取り組みが行なわれています。

プレミアリーグ・パリ大会ではフランスが金メダル2つを始めとする優秀な成績を収めました。地元選手の活躍という点では、この結果は追加種目選考において好条件と言えます。

COJOから空手が提案された場合、IOC理事会およびプログラム委員会の協議を経て、国際大会そして東京2020オリンピックでの視察を経て、2020年12月までに最終決定が下されます。

世界空手連盟 事務総長

奈藏 稔久

世界空手連盟 事務総長事務所

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-8-10 セイコー虎ノ門ビル7階
電話 03-3519-8520 FAX 03-3519-8521 wkf@wkf-gs.jp